

組合支援 ウォッチ

八女福島仏壇仏具協同組合求評会 「祈りのインターフェイス展」を開催

八女福島仏壇仏具協同組合が東京（世田谷区「Bonus Track」にて1月8日～11日）と福岡（福岡市中央区「アクロス福岡 匠ギャラリー」にて1月26日～30日まで）の2会場で新型仏壇などの求評会「祈りのインターフェイス展」を開催し、両会場とも多くの来場者で賑わいました。

八女福島仏壇は福岡県が誇る国指定の伝統的工芸品で、他の伝統工芸産地とは異なり、工芸品としての側面だけでなく「宗教具」としての側面が強くあるため、仏教への信仰や故人への想いによって多くの方に求められてきたところに特徴があります。

今回の催事は「令和3年度中小企業組合等課題対応支援事業（中小企業組合等活路開拓事業）」の一環で開催されましたが、本事業では組合全体で「仏壇とは何か」「仏教とは何か」を今一度見つめ直し、現代の消費者が産地に何を求めているかを捉えて、それを基に試作品の開発を行ってきました。試作品の開発には本会の「組合チャレンジ支援事業」も活用し、新型仏壇4種、また、二次製品として体験型商品2種を試作されました。

特に、外部デザイナーを交えて設計した「一段仏壇」は「最低限の形式を最小限の形に」をコンセプトに製作し、求評会出展時には各方面で活躍中の5名のアーティストがそれぞれの解釈で仏壇を演出・装飾したことで、今までにない全く新しい形の仏壇の展示会となりました。

今後も本組合が伝統・歴史を守りつつも、新しい挑戦を続けていかれることを期待しております。

参考：

①中小企業組合等課題対応支援事業

事業協同組合や商工組合など連携組織の新たな活路の開拓、単独では解決困難な問題の解決、中小企業発展に寄与する取組みを全国中小企業団体中央会が支援する補助事業です。

②組合チャレンジ事業

中央会会員組合が実施している共同事業の改善・強化・活性化を図るため、新たに組合が取り組む事業の実現化に対し、本会がこれを支援し、組合事業の高度化を促進するとともに本県において先進的な組織化事例を創出する事により、「組織化」の意義を高めることを目的とした事業です。



アーティストによる演出を施した「一段仏壇」



東京会場の様子



組合でデザイン・試作した「創作仏壇」